

1) 学校の教育目標

笑顔で豊かにつながり、幸せに生きる人を育てる

2) めざす学校像

みんな（子ども・家庭・地域・教職員）が笑顔で豊かにつながる幸せな学校

3) めざす子ども像

- ①自分を大切にしておきめのない前向きな子
- ②相手の話を聞き受けとめる思いやりのある子
- ③主体的に考え判断できる自律した子
- ④人のあたたかさに気づきつながりを築ける子
- ⑤夢をもって自分をみがき豊かに表現できる子
- ⑥互いを認め合い互いに高め合う自治的な集団

にちにちそう学園（第三中学校区 小中一貫教育）
「目標をもって、主体的にとりくめる人」
「互いの気持ちを考えて、助け合える人」

4) めざす教師像

- ①学び続け学び合いチームで成長する教師
- ②笑顔と挨拶を大切に子どもに寄りそい向き合う教師
- ③主体的に考えチャレンジできる自律した教師
- ④対話により子ども・家庭・地域・教職員とつながる教師
- ⑤子どもの人権を保障し学びの楽しさを伝える授業のプロ

5) 重点的に育成をめざす資質・能力

- ☆自己肯定感
- ☆主体性
- ☆言語能力（つながる力）

6) どのように学ぶか

- ◎自ら課題意識を持ち、目標や予想を立てて学ぶ
- ◎人や本との対話を通して豊かに表現し、深めて学ぶ
- ◎自分に合った方法で、ふりかえりを活かして学ぶ
- ◎仲間とともに、認め合い、協力し合って学ぶ

7) 子どもの発達をどう支援するか

- ◎認める・褒めるポイントを明確にし、励まして支援する
- ◎一人ひとりのニーズを把握し、個に応じて適切に支援する
- ◎自ら考え、選択し、決定できる場を設けて支援する
- ◎「ふわふわ言葉」で、学校全体に受容的な風土を醸成して支援する

8) 実施するために何が必要か ～四部会を中心に～

人権教育部

- ◇協働学習の充実
対話を通し、様々な考えや意見を取り入れる機会を意図的に設ける。
- ◇ふりかえりの充実
自分の意見の変化や成長を感じ、自己肯定感を高めるとともに、他者受容できるよう、ふりかえりを大切にする。
- ◇交流活動の充実
異学年交流や国際交流等を通して、違いを受けとめ、人と関わる力を高めるとともに、自分の良さや相手の良さに気づく機会を設ける。

研究部

- ◇学びの楽しさを伝える授業づくり
～子どもをつなぎ、学びを深める交流のしかけ～
子どもが主体的に考えるための導入を活かし、仲間とつながり、自分の考えを広げたり深めたりできる交流を通して、言語能力とともに自己肯定感を高める授業づくり・授業改善をめざす。
- 大阪の授業スタンダード活用
- つながりタイムと授業の連動
- 読書タイムの充実
- 聴き方・話し方指導の充実
- 公開授業（校内外）の実施

生徒指導部

- ◇一人ひとりの居場所となる学校づくり
～子どもたちが認め合いつながるために～
一人ひとりがあるままでいられ、学校が安心できる居場所となるように、子どもたちが互いに認め合い、つながる集団づくりをめざす。
- 発達支持的生徒指導の推進
- つながりタイムと授業の連動
- 公平対等な集団づくりの推進
- 教科の指導と生徒指導の一体化を進めながら取り組む。

支援教育部

- ◇子どもの実態把握
子ども支援委員会等で、情報交換・共有を密に行い、多面的・多角的に子どもを捉え、より良い支援を行う。
- ◇個に応じた学びの支援
教科指導や自立活動で、SSTの活用等、個に応じた適切な支援を行うとともに、スマイル・ルピナス・通常学級の授業交流を深める。
- ◇教職員の資質向上
支援教育の観点をふまえた授業づくり・集団づくりを推進するため、研修の伝達講習や校内研修の充実に努める。

9) 子どもの実態

- 素直
- 元気（明るい）
- 人懐っこい（お話し好き）
- やさしい
- 意欲的
- 受容的
- 自己肯定感
- 主体性
- つながる力
- 相手意識（規範意識）
- 学ぶ力
- 粘り強さ

10) 家庭・地域との協働・共創

- ・PTA
- ・学校協議会
- ・北中地区福祉委員会
- ・第三中
- ・校区人研
- ・青少年指導員会
- ・地域教育協議会
- ・小中一貫教育推進協議会